

事業番号	06 06 01	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	■点検
事業名	資源循環システム構築事業費	部局	環境部	課・室	資源循環推進課	
		実施期間	S46 ～	E-mail	junkan @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

- ・循環型社会の形成を推進するため、4 R（リデュース、リユース、リサイクル、リプレイス）の取組を進める必要がある。
- ・県民1人1日当たりの一般廃棄物排出量790gを達成するため、4 Rのうち特にリデュース、リユースを強く意識し、県民と一体となりごみを減らすライフスタイルへと変えていく必要がある。
- ・県内の産業廃棄物排出量は年間約450万tで中長期的には増加傾向であり、排出事業者等の3 R（リデュース、リユース、リサイクル）及び適正処理に向けた取組が必要である。

2 事業目的

4 Rの取組が浸透し、恒常的な活動や行動として定着していくため、プラスチックごみや食品ロスの削減について継続的な啓発等を実施するとともに、事業者の廃棄物処理に係る意識高揚を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①信州プラスチックスマート運動の推進

- ・簡易包装プロモート事業により、「3つの意識した行動」の具体的な取組の一つである「簡易包装への転換」を推進するため、様々な媒体で呼びかけを実施
- ・事業者のプラスチックごみ削減に係る取組を後押しするため、「信州プラスチックスマート運動協力事業者」の登録を実施

②食品ロス削減の推進

- ・食品ロスの削減を推進するため、以下の取組を実施
 - 「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～」の推進
 - ・事業系の食品ロス削減のため、「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～協力店」の登録を実施
 - ・宴会や家庭での食品ロス削減を呼び掛ける「残さず食べよう！30・10運動」を推進
 - ・店舗における食品ロス削減のため、小売事業者と連携し、「信州発もったいないキャンペーン」を推進
 - 未利用食品の提供（フードドライブ）の推進
 - ・フードバンク活動の推進のため、新聞広告による啓発を実施



「信州プラスチックスマート運動」ステッカー



「残さず食べよう！30・10運動」

③事業者の廃棄物処理に係る意識高揚

- ・事業者の廃棄物処理に係る意識高揚を図るため、産業廃棄物3 R実践講習会を開催

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	推移	実績	推移	実績	推移			
①	「信州プラスチックスマート運動協力事業者」新規登録数	店舗	27	↗	42	↗	45	↗	40	達成	長野県廃棄物処理計画（第5期）の目標値である令和3年度～7年度までの登録数200店舗から各年度40店舗とした。
②	「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～協力店」新規登録数	店舗	61	↘	53	↘	67	↗	40	達成	長野県廃棄物処理計画（第5期）の目標値である令和3年度～7年度までの登録数200店舗から各年度40店舗とした。
③	産業廃棄物3 R実践講習会の参加者人数	人	136	↗	160	↗	238	↗	200	達成	事業者の廃棄物処理に係る意識高揚の機会として、産業廃棄物3 R実践講習会の近年の平均参加者数を目標値とした。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値
1-1③	良好な生活環境保全の推進	1人1日当たりのごみ排出量	g	2021 (R3)	800	2022 (R4)	802	2023 (R5)	770	2025 (R7)	790
2-2④	循環経済への転換の挑戦	一般廃棄物リサイクル率	%	2021 (R3)	22.6	2022 (R4)	22.0	2023 (R5)	22.0	2025 (R7)	20.0

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R6年度	0	16,909	0	16,909	635	11,618	3.4
R5年度	0	16,384	0	16,384	527	14,458	3.4
R4年度	0	13,488	687	14,175	1,204	12,552	3.4

事業番号	06 06 01	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）	□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	資源循環システム構築事業費	部局	環境部	課・室	資源循環推進課	

7 主な取組実績と成果

①信州プラスチックスマート運動の推進 ・給水スポットマップ マイボトルの利用普及を通じてプラスチック使用の削減を推進するため、長野県統合型地理情報システム「信州くらしのマップ」に掲載 地点登録数：679地点 ・信州プラスチックスマート運動協力事業者 協力事業者数:180事業者723店舗 ・簡易包装プロモート事業 贈答品における簡易包装を推進するため、「～想い 伝わる 簡易包装～」をキャッチコピーに各種媒体を活用した啓発を実施 テレビCM:80本 Youtube動画広告:約16万回視聴、TVer動画広告:約9万回視聴 Googleバナー広告:約190万回表示、Yahooバナー広告:約500万回表示	 「給水スポット」ポスター  「簡易包装プロモート事業」インターネットバナー広告
②食品ロス削減の推進 ・「残さず食べよう！30・10運動」 テレビCM：48本、WEB情報誌バナー広告（7月及び10月） 街頭啓発（10月）、飲食店特集新聞広告（11月） ・「信州発もったいないキャンペーン」 県と包括連携協定を結ぶ味の素(株)と山崎貴監督が制作した巨大怪獣「フードロス」を活用した啓発 協力事業者数：32事業者1179店舗 ・「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～協力店」 協力店ステッカーのデザインを変更し配布（協力店数：994店舗）	 「残さず食べよう！30・10運動」Web情報誌バナー広告  「信州発もったいないキャンペーン」ポスター  「残さず食べよう！30・10運動」街頭啓発
③事業者の廃棄物処理に係る意識高揚 ・産業廃棄物3R実践講習会の開催（1回 WEB形式） ・信州リサイクル製品認定審査の実施	

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	「信州プラスチックスマート運動協力事業者」新規登録数	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	達成
地域や業種を絞って協力依頼をすることにより、目標を上回って達成することができた。							
指標②	「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～協力店」新規登録数	R5年度推移	↘	R6年度推移	↗	達成状況	達成
健康福祉部のほか、松本市、上田市と連携して協力店を募集することにより、目標を上回って達成することができた。							
指標③	産業廃棄物3R実践講習会の参加者人数	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	達成
過去の参加者アンケートの結果を踏まえ、製造業以外の事業者（処理業者）による事例発表を取り入れ、また、周知期間を長めに確保したことにより、参加者数が増加し目標を達成することができた。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題
・循環型社会の形成を推進するため、4R（リデュース、リユース、リサイクル、リプレイス）を意識した取組を進めることが必要である。 ・県民、事業者及び市町村と一体となりごみを減らすライフスタイルへと変えていくことが必要である。 ・産業廃棄物3R実践講習会は、参加事業者の関心度の高い講演テーマや様々な業種の事業者の取組を研究していくことが必要である。
(2) 事業改善の方策
・エコスタイル（ごみ減量などを取り入れた環境負荷の小さい生活様式）への転換を進めるため、事業者の取組の後押しをするとともに、消費者に対してターゲットや広報媒体を考慮した効果的なプロモーション（広報啓発）を実施していく。 ・産業廃棄物3R実践講習会について、参加事業者にとって、より関心度が高く、ニーズに合ったテーマを選定するとともに、周知期間を十分確保する。

事業番号	06 06 01	細事業一覧（令和 6 年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	資源循環システム構築事業費			部局	環境部	課・室	資源循環推進課	

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	資源循環システム構築事業費		12,552 千円	14,458 千円	11,618 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 6 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州エコスタイルごみ減量推進事業	直接 委託	・マイボトルの利用普及を通じてプラスチック使用の削減を推進するため、給水スポットマップを作成 ・贈答品における簡易包装を推進するため、簡易包装プロモート事業により「～想い 伝わる 簡易包装～」をキャッチコピーに様々な媒体で啓発を実施 ・食品ロス削減の推進のため、巨大怪獣「フードロス」や各種媒体を活用して「残さず食べよう！ 30・10運動」及び「信州発もったいないキャンペーン」等の啓発を実施 ・信州プラスチックスマート運動協力事業者 協力事業者数:180事業者723店舗 ・「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～協力店」 協力店数:994店舗 ・テレビCM（128回）及びラジオCM（38回）など		
2	産業廃棄物 3 R サポート事業	直接	・事業者の廃棄物処理に係る意識高揚を図るため、産業廃棄物 3 R 実践講習会を開催する。 産業廃棄物 3 R 実践講習会の開催（1 回）		